

登録コード	A3596428	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究					担当教員	生井 楓
英文授業名	Thesis Research						下里 剛士・重盛 駿
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	生井研所属の4年生（後期）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					動物微生物の研究に関する研究課題（発展2）に取り組み、最新の学術情報を踏まえた実験技術を修得している	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					動物微生物の研究に関する研究課題（発展2）に取り組み、最新の学術情報を踏まえた実験技術を修得している	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					動物微生物の研究に関する研究課題（発展2）に取り組み、最新の学術情報を踏まえた実験技術を修得している	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					動物微生物の研究に関する研究課題（発展2）に取り組み、最新の学術情報を踏まえた実験技術を修得している	
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	専攻研究 は、専攻研究の仕上げとなる4年次後期（10月-2月）に設定されている。これまでに得られているデータを見直し、専攻研究をまとめるために、研究グループ内でのディスカッション、担当教員との面談を通して、学位論文の構想について検討する。10月-11月に研究室内の						
(5)授業計画	4年次後期（10月-2月） 10月：研究室中間報告会 12月：学位論文の執筆開始 01月：専攻研究発表練習会 02月：専攻研究発表会（動物資源生命科学コース）						
(6)自主学習の指針	日々、自身の研究テーマに関連する文献の検索を行うこと。						
(7)成績評価の基準	専攻研究課題の内容を他者に説明ができるようになり、課題の解決に関わる研究の実行とデータの取得を合格（可C）基準とします。さらに、研究課題の歴史的背景と応用展開までを他者に説明できるようになり、加えて研究成果のレベルを以下の基準に照らし合わせて成績評価を行います。 秀S:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優A:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良B:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可C:授業の達成目標の水準にある 不可D:授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある						
(8)事前事後学習の内容	自身の専攻研究課題に関わる最新の原著論文を検索し、常に情報収集を行う。また、過去の研究成果を基礎として、課題の解決に向けた道筋を企画・立案し、指導教員と議論する。						
(9)テストやレポートの予定	無し。						
(10)成績評価の方法	日々の研究姿勢、提出された専攻研究論文と専攻研究論文発表会の内容を点数化し、5段階評価する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員に直接質問して下さい。emailでの問い合わせも受け付けます。						
(12)履修上の注意	自身の積極的な行動力はもとより、研究室スタッフとの深い連携が研究遂行には必須となります。コミュニケーション能力の向上についても、目標のひとつとして掲げています。						
【教科書】	無し。						
【参考書】	無し						